



# 三島の野菜、いただきます！ ～畑から届ける笑顔と野菜～

(出典：JAふじ伊豆)



発行所  
静岡県三島市文教町1-3-18  
県立三島北高等学校新聞部  
編集発行 責任 新聞部

印刷所  
大和印刷株式会社  
TEL 055-965-4100



地域農業の魅力発信や新しい地域づくりに取り組むうみんず。今回は、箱根西麓三島野菜の美味しい食べ方や、うみんずの活動を始めたきっかけ、これからの活動についてお話を伺った。

## のうみんずとは

のうみんずは、三島を拠点に活動する若手農家六人のグループである。結成のきっかけは、先輩農家たちが地域で協力して活動する姿を見たことだという。「自分たちも地域

のために活動したい」という思いから始まった。普段の仕事は個人や家族経営が中心ではあるが、のうみんず内で野菜の病気の情報共有を行うことで変化の激しい野菜の状況に臨機応変に対応できるよう、それぞれの農作業に生かしている。同世代が多く、仲の良さや

同じ目標に向かって団結できることも強みである。農業を単なる生産ではなく、人や地域をつなぐものとして捉え、学校や飲食店などと連携しながら、地域農業の魅力発信に取り組んでいる。また、農業を通して地域の人々とのつながりを深め、地域全体を盛り上げることを目指している。



▲箱根西麓三島野菜 (出典：JA ふじ伊豆)

## 土地の味



▲ロメインレタス (出典：JA ふじ伊豆)



▲ミニ白菜 (出典：JA ふじ伊豆)

のうみんずの代表品目として「ロメインレタス」と「ミニ白菜」がある。まず「ロメインレタス」は、四月から六月に収穫され、甘みを引き出すために有機肥料にこだわっている。ほかの苦味はあるが中心は柔らかくて甘く、火を通してもシャキシャキ感が残るという特徴がある。おすすめの食べ方は、ベーコンと一緒に炒めたシーザーサラダだ。次に「ミニ白菜」は、一般的な白菜より小さく、片手に

目として「ロメインレタス」と「ミニ白菜」がある。まず「ロメインレタス」は、四月から六月に収穫され、甘みを引き出すために有機肥料にこだわっている。ほかの苦味はあるが中心は柔らかくて甘く、火を通してもシャキシャキ感が残るという特徴がある。おすすめの食べ方は、ベーコンと一緒に炒めたシーザーサラダだ。次に「ミニ白菜」は、一般的な白菜より小さく、片手に

## 地域とともに

|          |
|----------|
| 1面       |
| 箱根西麓三島野菜 |
| 2面       |
| 北高の皆の放課後 |
| 3面       |
| 台湾修学旅行特集 |
| 4面       |
| 特集記事     |



▲のうみんず (出典：salveggie)

「三島の農業を今後どうしていきたいですか？」  
農業界は後継者不足などで厳しい状況です。生産者同士で協力し、箱根西麓三島野菜を広める必要があります。品質の良いものを作り、若い世代が興味を持って長く続けられる魅力ある農業にしたいです。

今後若い世代に向けてやりたい取り組みはありますか？  
職場体験です。現在行っている小学生への食育の授業に加えて、中高生にも農業の魅力を感じてほしいです。

取材を通して、箱根西麓三島野菜の魅力は、もちろん、様々な活動を通して地域を盛り上げようとする思いが伝わってきた。高校生に就いてのうみんずの方々は「たくさん箱根西麓三島野菜を食べてほしいです。SNSなどで発信して、一緒に広めていけたら嬉しいです」と語った。箱根西麓三島野菜が今後さらに広がることを期待したい。

## 広がる魅力

「三島の農業を今後どうしていきたいですか？」  
農業界は後継者不足などで厳しい状況です。生産者同士で協力し、箱根西麓三島野菜を広める必要があります。品質の良いものを作り、若い世代が興味を持って長く続けられる魅力ある農業にしたいです。

取まるほどの大きさで重さは1kg未満。甘みが強く、毛羽がないためチクチクとした食感がなく、生食でも食べられるそう。おすすめの食べ方は、ごま油や塩などの調味料と混ぜた生サラダや、肉や野菜の炒め物に添える。さらにはのうみんずは、野菜の生産だけでなく、食や農業を通して地域と社会のつながりをデザインする活動にも力を入れている。そう、野菜と飲食店、「人と地域」「未来の担い手」「野菜」をテーマに、一緒に考える。このような活動で地域社会のつながりを深める活動にも取り組んでいる。

箱根西麓三島野菜を通して地域との関わりや活動への思い、今後の展望について伺った。地域とのつながりにて教えた。地域に少なくて貢献したいという思いで活動している。「Bistrot a veggie market」を開催し、野菜を通じて地域や農業を盛り上げようと考えています。また、箱根西麓三島野菜を広めることが、のうみんずの役割だと思っています。

「三島の農業を今後どうしていきたいですか？」  
農業界は後継者不足などで厳しい状況です。生産者同士で協力し、箱根西麓三島野菜を広める必要があります。品質の良いものを作り、若い世代が興味を持って長く続けられる魅力ある農業にしたいです。



▲にんじん収穫体験 (出典：JA ふじ伊豆)

## 先生の手料理大調査！

### 勝呂先生特製！

#### 新玉ねぎのポタージュ



### 先生の手料理ラインナップ！



- 井出 若菜 (31HR)  
窪田 美枝 (31HR)  
谷口 優美 (32HR)  
小林 由奈 (34HR)  
木部愛柚夏 (21HR)
- 二面担当  
井出 若菜 (31HR)  
窪田 美枝 (31HR)  
谷口 優美 (32HR)  
小林 由奈 (34HR)  
木部愛柚夏 (21HR)

|        |          |
|--------|----------|
| 鈴木 夏実  | (31 H R) |
| 小見山 優菜 | (32 H R) |
| 長田 菜奈  | (33 H R) |
| 橋口 明日香 | (33 H R) |
| 福井 彩那  | (25 H R) |
| 竹内 ひより | (13 H R) |

## 生徒に聞いた！ 台湾おすすめスポット

昨年度から我が校の修学旅行先となった台湾。皆さんはどんなイメージをお持ちだろうか。

今回は生徒に行ったアンケートをもとにして台湾のおすすめの観光地を紹介する。

まず多く声が上がったのは赤い提灯が並ぶ景色が人気の九份だ。映画の世界に入り込んだような街並みが魅力で、階段沿いに並ぶお茶屋や食べ歩きグルメを楽しめる。夕方から夜にかけては提灯に灯りがともり、幻想的な雰囲気になるため、写真スポットとしても人気を集めている。またパイナップルケーキやお茶などの台湾ならではの土産を買える場所としても有名だ。

「が楽しかった」という感想が多く見られた。夜になると多くの観光客や地元の人々でにぎわい、台湾らしい活気ある場所となっている。さらに、若者に人気のスポットとして昔ながらの街並みが残った「肉形石」といった展示物や多岐にわたる声がかかる。このほかにも、アンケートでは台北101や淡水、十分などをおすすめする声が見られた。台湾には、歴史や文化を感じられる場所からグルメを楽しめるスポットまで、多くの魅力がある。これから修学旅行へ向かう二年生にも、事前に行きたい場所を調べながら、台湾ならではの文化や雰囲気を存分に楽しんでほしい。

# 台湾完全ガイド

今の高校生は、小学校時代、コロナの影響で行く予定だった場所へ行けなかった人も多いだろう。だからこそ、台湾への修学旅行を心から楽しみにしている人もきっと多い。

今回は、おすすめスポットなどや体験談を紹介するので、修学旅行への楽しみをより一層膨らませてほしい。



Tips  
「千と千尋の神隠し」の舞台として知られる観光名所。赤い提灯と青空のコントラストが撮影スポットとしても大人気！



Tips  
台湾の「原宿」？台湾だけでなく世界の流行が集まる街



Tips  
・生徒の間でも大評判！  
・気取った高級感はないので、冷たいお茶で冷まして楽しむのも



Tips  
・台湾で最も高い建築物  
・おもしろいので自分たちの合間に休憩場所にも



Tips  
・台湾土産の定番人気  
・九份では焼きたてが食べられるかも…



Tips  
・最大規模を誇るナイトマーケット  
・台湾ならではの日常グルメも新鮮！

## 台湾 どこ行く 何食べる？

### 台湾を楽しむコツ

これから修学旅行に行く二年生へ。三年生が実際に台湾を訪れて感じたことや、アンケートで多く挙げられた意見の中から、特に知っておくべき役に立つことを紹介する。ぜひ、修学旅行の際に役立ててほしいと思う。

まず、服装については、台湾は想像以上に暑い。半袖で過ごせる日が多いので、長袖を日中に着用して持っていく必要はない。ただし、飛行機や室内では冷房が効いていることも多いため、羽織れる上着を一枚持参すると安心である。また、班行動では小さめのバッグがあると便利である。リュックよりも斜めがけバッグや手持ちバッグの方がスリ対策になるためおすすめだ。パスポートなどの貴重品は持ち歩き、ホテルの金庫に保管しておくこと。

次に、台湾の食文化について紹介する。台湾料理は全体的に甘いのが特徴で、甘いものが好きという人が多い。また、台湾の食文化は、中華文化の影響を受けている。そのため、台湾料理は、中華料理の一種である。台湾料理は、中華料理の一種である。台湾料理は、中華料理の一種である。

先日のアンケートへの回答がありとうとういよいよ。皆様からの意見がとても参考になりました。楽しみなど多くのことは、及ばずホテルで過ごす時間や食べ物についてだった。ルールをしっかり守った上で楽しんでほしい。そして、昨年台湾へ修学旅行に行った三年生の皆様からの貴重な体験談

人もいた。しかし、日本語を話せる人が多い。そのため、過度に心配する必要はない。混雑を避けるためには、昼食や夕食の時間を少しずらすのがおすすめです。

また、故宮博物館を訪れる予定がある人は、事前に展示情報を確認しておくこと。私たちが訪れた際は、有名な翠玉白菜が海外へ貸し出されており、見ることができなかった。さらに、故宮博物館はホテルから距離があり、開館時間も比較的早い。見学したい場合は早めに行き、申し込みが必要がある。

最後に、現地へ交流する大学生の方々に、おすすめの場所や台湾ならではの文化について積極的に質問し、現地の人との交流もぜひ楽しんでほしい。

修学旅行は、普段の学校生活ではできない貴重な経験ができる機会である。事前に準備を整え、ルールや時間を守りながら、台湾での思い出をたくさん作ってほしい。

- （三面担当）
- 山下 歩惟（32 H R）
  - 津田 菜々子（33 H R）
  - 橋本 愛生（35 H R）
  - 鈴木 輝愛（37 H R）
  - 高木 友（27 H R）

|          |          |          |          |          |          |          |
|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 齋藤       | 増田       | 土屋       | 三宅       | 吉川       | 鈴木       | 伊倉       |
| 羽叶       | ひなた      | 優生       | 凛        | 真由       | 貫太       | 遙馬       |
| (27 H R) | (33 H R) | (33 H R) | (32 H R) | (32 H R) | (31 H R) | (31 H R) |